

いわて振り返る10年

2011年

- 3月9日 午前11時45分ごろ、三陸沖を震源とする地震が発生し本県で最大震度4。大船渡で60秒などの津波観測
- 3月11日 東日本大震災 午後2時46分、国内観測史上最大のM9.0の地震。震源は三陸沖。大津波が沿岸一帯を襲い、陸前高田市中心部などが壊滅した。津波の影響で東京電力福島第1原発で事故
- 3月19日 陸前高田市と釜石市で仮設住宅着工
- 4月7日 宮城県沖を震源とするM7.2の地震。震災の停電は復旧が進んでいたが、再び県内全域の約81万世帯で停電
- 4月9日 陸前高田市で仮設住宅入居スタート
- 5月2日 陸前高田・高田が仮校舎となる大船渡東高蔵中校舎で約1ヶ月遅れの始業式=写真①。全県立学校が再開
- 5月6日 天皇、皇后両陛下が来県。釜石市と宮古市の避難所を訪ね、被災者を励まされた
- 5月28日 県内の停電が全て解消
- 6月29日 「平泉の文化遺産」が世界遺産に登録
- 7月13日 県内の断水が全て解消
- 7月26日 自衛隊が本県での支援活動任務終了
- 7月28日 本県など4県で北東北インターハイ開幕
- 8月11日 県内の仮設住宅1万3984戸が全て完成
- 8月31日 県内の公共施設や宿泊施設に設置されていた避難所が、山田町の4カ所を最後に全て解消
- 9月11日 震災後初の知事選、県議選投票。達増拓也氏が再選
- 11月2日 本県がれきの広域処理スタート。宮古市から東京都への搬出開始



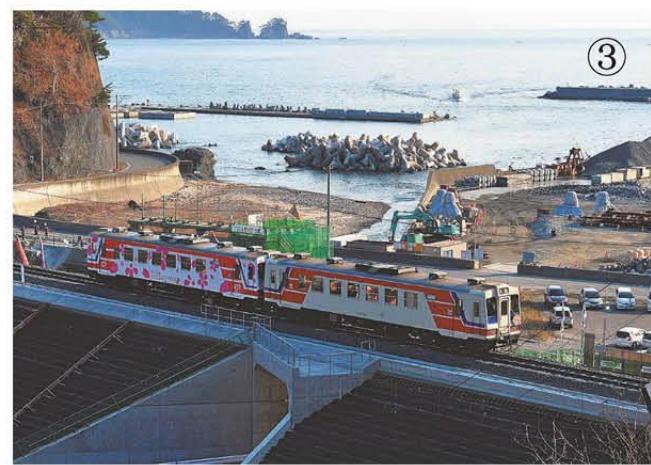
2012年

- 2月10日 国が復興庁設置。盛岡市に岩手復興局、宮古市と釜石市に支所開設
- 3月8日 宮古市の金浜海岸で県内初の防潮堤復旧工事に着手
- 3月11日 震災から1年。陸前高田市で県と市の合同追悼式
- 3月17日 JR八戸線が全線で運転再開
- 5月26日 盛岡市で「東北六魂祭」開催
- 6月14日 釜石市の平田地区で県内初の災害公営住宅着工
- 12月7日 三陸沖を震源とするM7.3の地震。大船渡、久慈港で80秒の津波観測
- 12月10日 大船渡市の盛中央団地で県内初の災害公営住宅入居開始
- 12月16日 衆院選投票が行われ、自民、公明が3年3カ月ぶりに政権返り咲き



2013年

- 3月2日 JR大船渡線気仙沼一盛間でバス高速輸送システム(BRT)の運行開始
- 3月11日 震災から2年。大槌町で県と町の合同追悼式
- 4月1日 NHK連続テレビ小説「あまちゃん」放送開始
- 7月3日 陸前高田市の「奇跡の一本松」の復元完成式=写真②。津波に耐えたがその後、枯死状態に。市は高田松原で唯一残った松を、震災を後世に伝えるモニュメントとして保存を決め、12年9月に伐採、保存作業を進めてきた
- 7月4日 天皇、皇后両陛下が来県
- 7月21日 参院選投票。岩手選挙区は平野達男元復興相が3選
- 7月24日 岩手国体の16年開催を日本体協が正式決定
- 8月9日 県央部を中心に記録的豪雨被害。零石町や矢巾町で降り始めからの総雨量が200mmを超える
- 8月23日 北上山地(北上高地)が国際リニアコライダー(ILC)の国内候補地に決定
- 9月24日 「三陸ジオパーク」が日本ジオパーク認定
- 11月29日 復興庁、宮古市の「たろう観光ホテル」の震災遺構保存に初めての国費投入を表明



2014年

- 2月4日 山田町が緊急雇用創出事業を委託したNPO法人代表理事らが業務上横領容疑で逮捕
- 3月11日 震災から3年。山田町で県と町の合同追悼式
- 3月24日 陸前高田市で土砂搬出用のベルトコンベヤー運転開始。高台造成のため、15年9月まで500万立方mの土砂を搬出
- 3月31日 本県の震災発生がれきの処理終了
- 4月1日 JR岩泉線廃止
- 4月5日 船越小(山田町)が新校舎で授業。被災した校舎の移転新築は被災3県で初めて
- 4月6日 三陸鉄道が全線復旧。北リアス線田野畑一小本間(10.5km)の運行を再開=写真③。前日の南リアス線釜石-吉浜間(15km)と合わせ、南北リアス線全107.6kmが完全復活した
- 4月12日 JR釜石線花巻-釜石間で「SL銀河」の営業運転開始
- 8月24日 宮古盛岡横断道路の平津戸松草道路(7km)と区界道路(8km)が着工し、県内全ての復興道路が工事に入った



2015年

- 2月17日 三陸沖を震源とするM6.9の地震。久慈港で20秒、宮古で10秒の津波観測
- 3月11日 震災から4年。野田村で県と村の合同追悼式
- 4月7日 小中一貫教育校となった大槌町の吉里吉里学園で初の入学式
- 5月6日 高田高の新校舎落成記念式典
- 7月5日 釜石市の橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録
- 12月25日 JR大船渡線の鉄路復旧を断念、バス高速輸送システム(BRT)の継続正式決定



2016年

- 1月27日 「完全国体」の希望郷いわて国体が幕開け。先陣を切ってスケート・アイスホッケー競技会が開幕。男女総合成績(天皇杯)は8位
- 2月20日 本県でスキー国体。県勢は2種目優勝。天皇杯4位で秋の本大会につなぐ
- 3月11日 震災から5年。大船渡市で県と市の合同追悼式
- 3月21日 高校野球の第8回選抜大会で釜石高が甲子園初勝利。小豆島(香川)に2-1で競り勝つ
- 8月30日 観測史上初、東北地方の太平洋側に上陸した台風10号による豪雨。岩泉町内の高齢者施設などが浸水、関連死含む27人が死亡、1人が行方不明になった
- 9月28日 岩手国体総合開会式出席のため、天皇、皇后両陛下が来県
- 10月1日 岩手国体開幕=写真④。11日まで県内24市町村で36式競技と特別競技の高校野球が行われた。県勢は優勝16種目を含め入賞173種目。県勢は天皇杯、皇后杯(女子総合成績)とも2位と、被災地に勇気と感動をもたらした
- 11月22日 福島沖を震源とするM7.4の地震。久慈港で80秒など県内4カ所で津波観測

2017年

- 3月11日 震災から6年。釜石市で県と市の合同追悼式
- 4月27日 陸前高田市でアバッセたかた開業
- 4月29日 大船渡市でキャッセン開業
- 5月8日 釜石・尾崎半島で約413haを焼く大規模山林火災
- 5月27日 陸前高田・高田松原の再生に向けて、初の本植栽スタート
- 9月23日 釜石港で大型荷役機械ガントリークレーン稼働。本県港湾物流の拠点へ
- 11月19日 三陸道山田-宮古南(14km)が開通。震災後に事業着手した復興道路・復興支援道路で初めて

2018年

- 3月11日 震災から7年。宮古市で県と市の合同追悼式
- 6月10日 大槌町の交流施設「おしゃっち」開館
- 6月22日 宮古市と北海道室蘭市を結ぶ本県初の定期フェリー就航。20年3月末に運行休止
- 7月3日 釜石市・鵜住居防災センター訴訟で和解。市が同センターでの多数の犠牲に対する行政責任を認めて謝罪
- 7月末 19年ラグビーWORLD CUP(W杯)の会場となる釜石市の釜石鵜住居復興スタジアム完成
- 10月1日 宮古駅南側にイーストピアみやこ開所。市役所木庁舎と市民交流センター、保健センターを一体整備
- 11月29日 大船渡「吉浜のスネカ」など8県10件の行事で構成する「来訪神 仮面・仮装の神々」がユネスコの無形文化遺産登録

2019年

- 1月18日 陸前高田市・気仙小が高台移転。県内被災公立校の再建完了
- 3月2日 大槌町役場旧庁舎の解体完了
- 3月9日 釜石ジャンクション-釜石仙人峠間が開通、釜石道が全線つながる
- 3月11日 震災から8年。久慈市で県と市の合同追悼式
- 3月23日 JR山田線釜石-宮古間(55.4km)が三陸鉄道へ移管、大船渡・盛一久慈間(163km)が「リアス線」として全線開通。全国最長の第三セクター鉄道となった
- 9月22日 陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園内に、東日本大震災津波伝承館と国営追悼・祈念施設がオープン
- 9月25日 ラグビーW杯、釜石市でウルグアイ-フィジー戦=写真⑤。
- 震災津波の被災地で唯一の開催地、釜石鵜住居復興スタジアムで1次リーグD組の1試合が行われ、ウルグアイがフィジーに30-27で競り勝った。世界レベルの熱戦を展開し、会場を埋めた観客約1万4千人を沸かせた。
- 県内各地でパブリックビューイングが展開された
- 9月29日 大槌町・吉里吉里学園中学部の仮設住宅撤去完了。県内の学校用地の仮設が解消

- 10月13日 台風19号豪雨。道路寸断で集落も孤立し、釜石市で予定されたラグビーW杯ナミビア-カナダ戦中止
- 10月17日 プロ野球ドラフト会議で、大船渡高の佐々木朗希投手がロッテから1位指名
- 10月31日 大槌町赤浜の災害公営住宅7戸完成。沿岸部の全5550戸の整備完了

2020年

- 3月11日 震災から9年。釜石市で県と市の合同追悼式。新型コロナウイルスの影響で行事の中止、縮小相次ぐ
- 4月16日 新型コロナに対応する緊急事態宣言が全都道府県に拡大
- 5月18日 三陸鉄道の新駅「新田老駅」が開業、駅とつながる宮古市田老総合事務所も開所
- 12月5日 宮古盛岡横断道路の区界道路(8km)開通。21年3月末までに全線開通予定
- 12月7日 県内最後となる盛岡市の災害公営住宅99戸完成。全5833戸の整備が完了

2021年

- 1月11日 宮古市の淨土ヶ浜遊覧船最終運航
- 1月25日 津波で観光船はまゆりが乗り上げた大槌町の旧民宿の解体工事始まる
- 3月11日 東日本大震災から10年。陸前高田市で県と市の合同追悼式

from 3.11 あなた、生きていく。